

# ロングエプロンの着こなしと機能的アレンジ方法



動画で分かるアレンジ方法

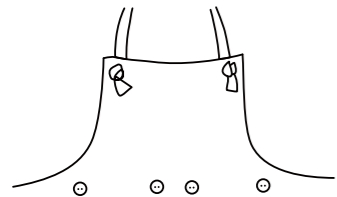
※アレンジ方法のみ閲覧できます。

## クロスバックスタイル

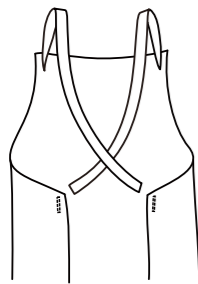
首回りにリボンがなく肩が凝りにくい設計です。

準備するもの  
本体エプロン  
リボン2本

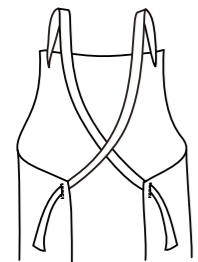
- ① 2本のリボンを胸のボタンホールに通して、ひと結びします。



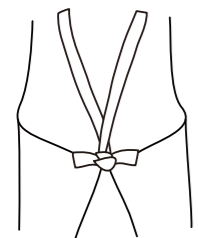
- ② 着用して、右のリボンを左に、左のリボンを右にクロスします。



- ③ リボンをクロスさせた位置のボタンホールに通します。



- ④ 通したリボンを丸結びして完成です。



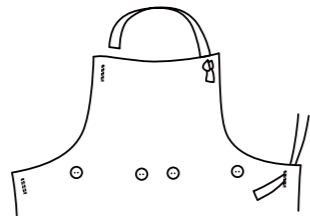
リボンを結ぶことが手間とを感じる方は、③でボタンホールにリボンを通した際、それぞれひと結びすることで、かぶるように着用できます。

## ネックバックスタイル

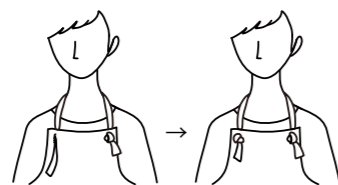
全体の丈やリボンの長さを前から調整できます。

準備するもの  
本体エプロン  
リボン2本

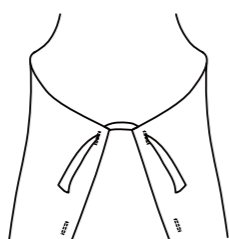
- ① 1本のリボンを胸のボタンホールに通し、ひと結びします。もう1本は腰のボタンホールに通します。



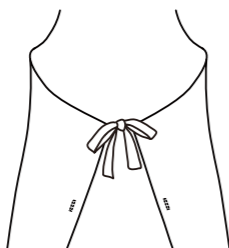
- ② 着用しリボンを首の後ろにまわして反対側のボタンホールに通します。リボンの長さを調整して、それぞれひと結びをします。



- ③ 腰のボタンホールに通したリボンをもう一方のボタンホールに通します。



- ④ 通したリボンをちょうちょ結びして完成です。

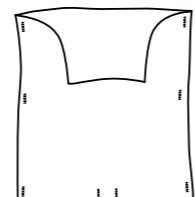


## ギャルソンスタイル

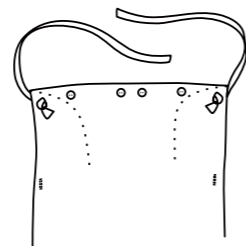
2つ折り&腰で巻くメンズに人気のスタイル。

準備するもの  
本体エプロン  
リボン2本

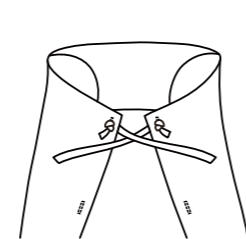
- ① 本体生地をお腹のボタンよりも少し上で2つ折りにします。



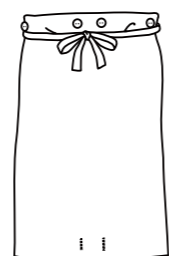
- ② 腰のボタンホールにそれぞれ2本のリボンを通して、ひと結びします。



- ③ 腰に合わせて着用しリボン进行後ろでクロスさせ、前へもってきます。ロングリボンをお使いの場合には、リボンをもう一周巻きつけます。



- ④ お腹の2つのボタンの下あたりで、ちょうちょ結びまたは固結びをして完成です。

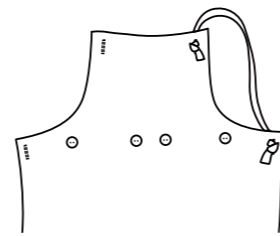


## かっぽう着風スタイル

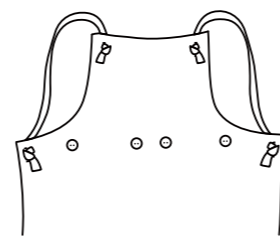
リボンを結ぶ手間がなく簡単に着脱できます。

準備するもの  
本体エプロン  
リボン2本

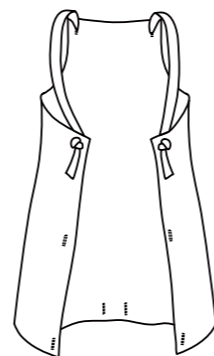
- ① 1本のリボンの両端を、本体生地のお腹と腰のボタンホールにつなげて、ひと結びします。



- ② もう1本のリボンも同じように取り付けます。リボン同士をクロスする必要はありません。



- ③ そのまま肩にかけるだけで完成です。着脱もとても簡単です。

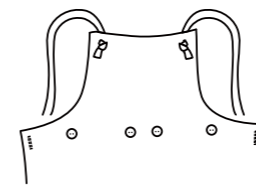


## 前結びカフェスタイル

通常の2倍の長さのロングリボンを使います。

準備するもの  
本体エプロン  
ロングリボン2本

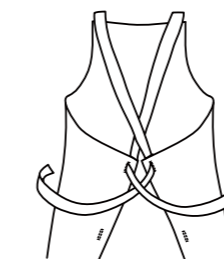
- ① 胸のボタンホールにそれぞれ2本のリボンを通して、ひと結びします。



- ② エプロンを着用してリボンを背中にまわしてクロスさせます。そして、腰のボタンホールに内側から外へと通します。



- ③ 腰のボタンホールに通した右側から出ているリボンは左から前へ、左側から出ているリボンは右から前へと持っていきます。

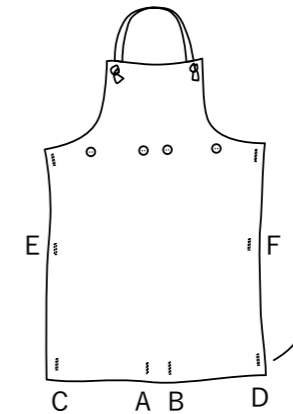


- ④ 前にきたリボンを2つのボタンの下あたりで、ちょうちょ結びして完成です。

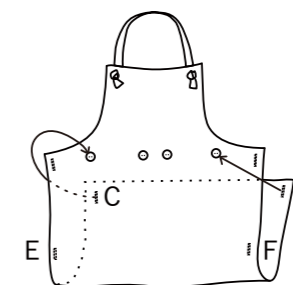


## ショートアレンジ

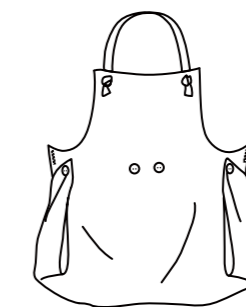
- ① エプロンの裾を内側に折ります。



- ② 裾の両端にあるボタンホールC,Dを両端のボタンにとめます。

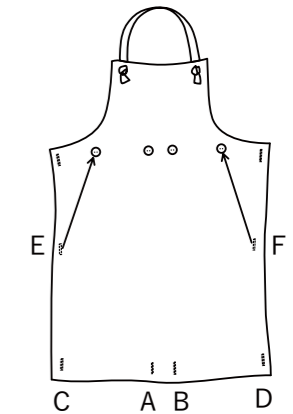


- ③ 丈の短いエプロンに早変わりします。

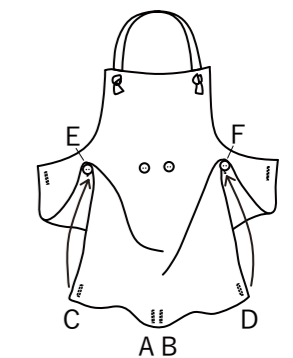


## バスケットアレンジ

- ① ボタンホールE,Fを両端にある腰のボタンにとめます。



- ② 続いて、ボタンホールC,Dも両端のボタンにとめます。



- ③ 大きなカンガルーポケットのできあがりです。

